

発行日 2016-7-21

改訂日 2020-8-27

バージョン 2

1. 化学品及び会社情報

製品特定名
化学品の名称

LEXUS BODY COAT PREMIUM ベースガラスコート

推奨用途及び使用上の制限
推奨用途

自動車整備用

供給者情報

製造者

スリーボンドファインケミカル株式会社

住所・担当部門

神奈川県相模原市緑区大山町1-1
生産技術部

緊急連絡電話番号

042-774-1333

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体	区分 3
水生環境有害性(急性)	区分 3
水生環境有害性(長期間)	区分 3

ラベル要素



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H226 - 引火性液体及び蒸気

H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き - 安全対策

- ・環境への放出を避けること
- ・熱、火花、裸火のような着火源から遠ざけること。 - 禁煙
- ・容器を密閉しておくこと
- ・容器を接地すること / アースをとること
- ・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること
- ・保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を使用すること
- ・皮膚(又は髪)に付着した場合: 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水 / シャワーで洗うこと
- ・火災の場合: 消火に二酸化炭素、粉末消火剤、または泡消火剤を使用すること。

注意書き - 保管

- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと

注意書き - 廃棄

- ・内容物 / 容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

3. 組成及び成分情報

単一の化学物質または混合物 混合物

化学物質名	濃度又は濃度範囲(%)	化審法	安衛法番号	CAS番号
ヘプタン,2,2,4,6,6-ペンタメチル-	30-<40	(2)-10	(2)-10	13475-82-6
合成イソパラフィン系炭化水素	1-<10	-	-	-
ノナン、イソノナン	50-<60	-	-	-

労働安全衛生法

規制区分	法文物質名	政令番号
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)	ノナン	432
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)	ノナン	432

化審法

規制区分	法文物質名	政令番号
優先評価化学物質(法第2条第5項)	2, 2, 4, 6, 6-ペンタメチルヘプタン	212

4. 応急処置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移すこと 直ちに医師の診断/手当てを受けること
皮膚に付着した場合	汚染された衣服及び靴を脱ぎ、直ちに石けんと多量の水で洗うこと 皮膚の炎症又はアレルギー性反応が認められる場合には、医師の診察を受けること
眼に入った場合	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること 直ちに医師の診断/手当てを受けること
飲み込んだ場合	口をすすぐこと 医師の手当てを受けること

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧(霧) 二酸化炭素(CO2) 粉末消火薬剤 耐アルコール泡消火剤 砂
特有の危険有害性	火災によって、刺激性、有害性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	消火作業を行う者は、保護具(保護眼鏡、保護衣、呼吸用保護具等)を着用して、風上から消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	環境毒性の詳細情報についてはセクション12を参照のこと。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合、乾燥砂・土・ウエス等に吸収させて密閉できる空容器に回収する 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い
安全取扱注意事項

技術的対策	『 8. ばく露防止措置及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気、全体換気	『 8. ばく露防止措置及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉して、直射日光や火気を避け、適切な温度で保管すること。
安全な容器包装材料	保管の際には、容器を移し替えないこと。また容器から出したものを中に戻さないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露限界

設備対策 屋内作業場で使用の場合は、発生源の密閉化または局所排気装置の設置等の対策をする。取扱場所の近くに、安全シャワー、手洗い、洗顔装置を設け、その位置を明瞭に表示することが望ましい。

個人用保護具

- 呼吸用保護具 換気が不十分な場合には呼吸用保護具を着用すること
- 手の保護具 適切な保護手袋(ポリエチレン製、ゴム製等の不浸透性素材のもの)を着用すること。
- 眼/顔の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること
- 皮膚及び身体の保護具 必要に応じて保護前掛け、保護長靴などを使用する。半袖の作業着の使用は避ける。

その他の情報

取扱後は手をよく洗うこと この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと

9. 物理的及び化学的特性

形状	液体	
臭い	微臭	
色	無色	
特性	値	備考
pH	データなし	
融点/凝固点	データなし	
沸点/沸点範囲	データなし	
引火点	23.9 °C	タグ密閉式
蒸発速度	データなし	
燃焼性(固体、気体)		
空気中での可燃限界		
燃焼上限:	データなし	
燃性下限:	データなし	
比重	0.7	
水への溶解度	水に不溶性	
自然発火温度	データなし	
分解温度	データなし	
粘度	データなし	

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害性反応危険性	強酸化剤と反応し、火災の危険をもたらす。空気中の水分と反応し硬化する。
避けるべき条件:	加熱
混触危険物質	強酸化剤。水。湿気。
危険有害な分解生成物	燃焼すると条件によって有害ガスが生成することがある。

11. 有害性情報

急性毒性

吸入 LC50 製品としてデータなし。

毒性の数値尺度 - 成分情報**短期的及び長期的ばく露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響**

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 製品としてデータなし。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 製品としてデータなし。

感作性 製品としてデータなし。

生殖細胞変異原性 製品としてデータなし。

発がん性 製品としてデータなし。

生殖毒性 製品としてデータなし。

特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 製品としてデータなし。

特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 製品としてデータなし。

誤えん有害性 製品としてデータなし。

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境に対する急性危険有害性 製品としてデータなし。

水生環境に対する慢性危険有害性 製品としてデータなし。

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に有害

残留性・分解性 製品としてデータなし。

生体蓄積性
製品としてデータなし。

成分情報 利用可能な情報はない

内分泌かく乱物質情報 製品としてデータなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 国、都道府県、および市町村の規制に従って廃棄すること。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに依託して処理する。本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することはしてはならない。

汚染容器及び包装。 使用済みの容器・ウエス等も、残余廃棄物と同様に処理する。

14. 輸送上の注意

IMDG

UN/ID番号	UN1139
正式輸送品目名	コーティング液
危険有害性クラス	3
容器等級	III
EmS番号	F-E, S-E

ICAO/IATA/航空規制

UN/ID番号	UN1139
正式輸送品目名	コーティング液
危険有害性クラス	3
容器等級	III

ADR

UN/ID番号	UN1139
正式輸送品目名	コーティング液
危険有害性クラス	3
ラベル	3
容器等級	III
ERGコード	3L
環境有害性	該当する

国内規制

UN番号	UN1139
正式輸送品目名	コーティング液
危険有害性クラス	3
容器等級	III
海上輸送安全法	引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)

15. 適用法令

消防法 第4類 第二石油類(非水溶性)

化審法 優先評価化学物質(法第2条第5項)

労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)

高圧ガス保安法 該当しない

火薬類取締法 該当しない

16. その他の情報

発行日 2016-7-21

その他の情報 製品の特性等に関するお問い合わせは、ご購入先の営業所または株式会社スリーボンド
お客様相談室までお願いします。お客様相談室 0120-56-1456

主要参照文献とデータの出典

- JIS Z 7253:2012 GHSに基づく 化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
- JIS Z 7252:2014 GHSに基づく 化学品の分類方法

免責事項

危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。
記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成されておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の実施を前提としたもので、特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施願います。
この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
この安全データシートは日本国内向けに作成したものですので、無断での翻訳及び海外向けの交付はご遠慮ください。製品を海外に輸出する場合には、仕向国の法令・規制等について事前にご確認ください。